



# OOMASU



2023年度  
(運用期間：2021年10月～2022年9月)

## 環境経営レポートvol.4



2022年11月30日発行



# 目次

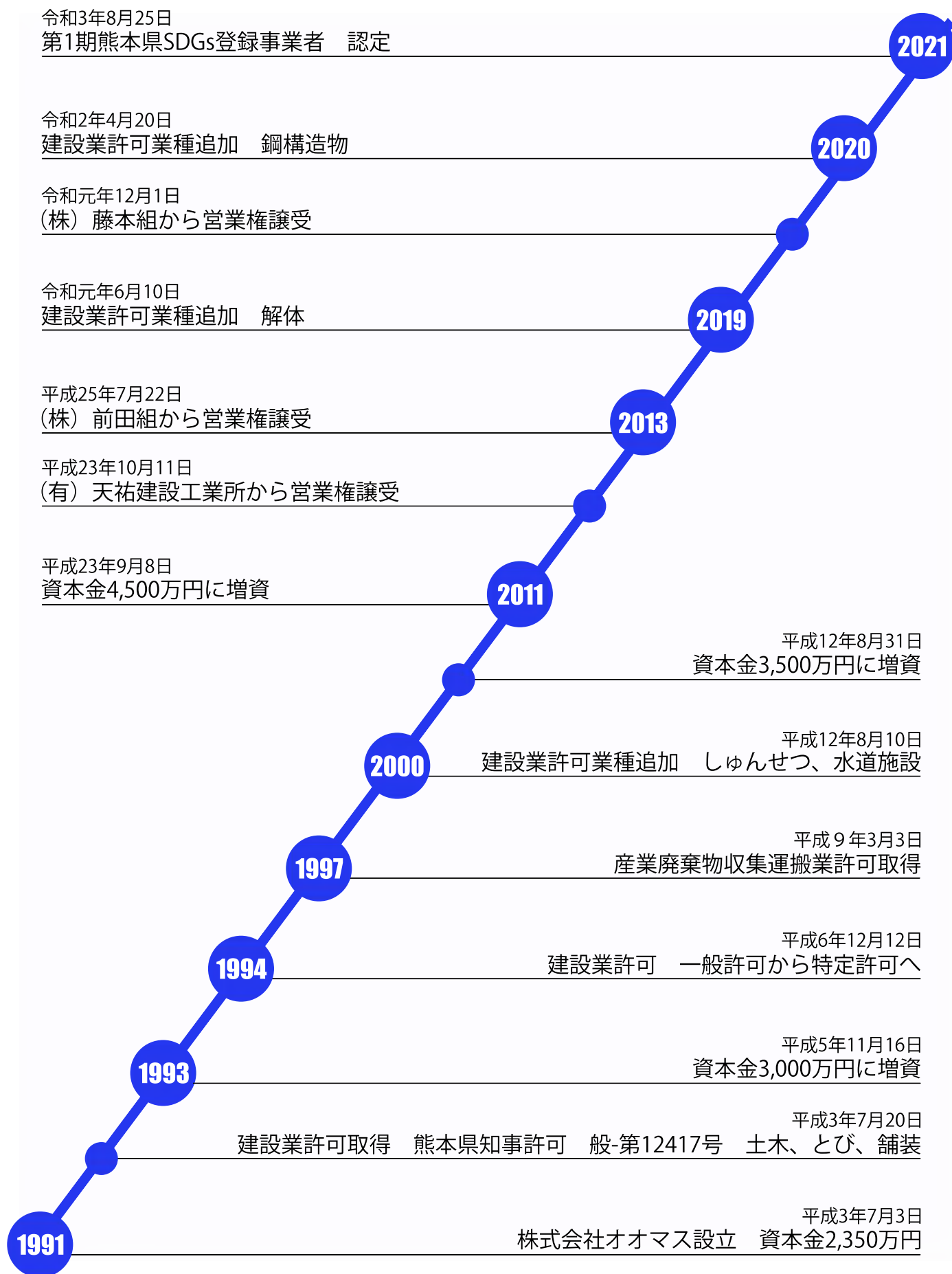
---

1. 組織の概要
2. 環境経営方針
3. 環境への負荷の実績
4. 環境への取組みの自己チェック
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容
  - 7-1 実施体制
  - 7-2 当社における環境配慮の取組内容
  - 7-3 当社におけるその他の取組
8. 環境経営目標の実施・その評価並びに  
次年度の環境経営目標及び環境経営計画
9. 環境経営計画の取り組み結果とその評価、  
次年度の取り組み内容
10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、  
並びに違反、訴訟などの有無
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

# I.組織の概要

---

- 1) 事業所名 株式会社 オオマス  
代表者氏名 益田 健一（代表取締役社長）  
創立 1991年7月
- 2) 事業所及び所在地 【本 社】 〒863-0042  
熊本県天草市瀬戸町50-1  
【新和倉庫】 〒863-0103  
熊本県天草市新和町大宮地4862-2  
【資材置場】 〒863-0103  
熊本県天草市新和町大宮地 地内
- 3) 環境管理責任者 工務部 : 益田 智仁  
環境管理担当者 総務部 : 益田 麻衣子、益田 悠子  
担当者連絡先 0969-24-8020 / 0969-24-8021
- 4) 事業内容 特定建設業(許可番号：熊本県知事 許可 特-29 第012417号)  
土木工事業 とび・土木工事業 しゅんせつ工事業  
舗装工事業 水道施設工事業 解体工事業 鋼構造物工事業
- 5) 事業規模 2021年度（2021年10月1日～2022年9月30日）  
売上高： 1,258百万円  
従業員数： 41名  
※2022年9月決算時点
- 6) 事業年度 10月～翌年9月
- 7) 認定・登録の範囲 当社は全組織・全活動を認証・登録対象範囲としています。  
対象範囲 場所：本社、新和倉庫、資材置場  
事業：土木、ほ装、とび・土木、解体工事業



## 2.環境経営方針

---

### I. 基本理念

株式会社オオマスは、「技術を通じて社会に貢献する」という、創業以来変わらぬ企業理念があります。

「社員の健康・技術の向上・原価の追及」との理念のもと日々の事業を推進しています。社会の価値観に合った人づくりや企業の成長を図りながら、社会に貢献していきます。

### II. 行動指針

当社は建設業が環境に及ぼす影響を理解し、自主的・積極的に環境経営に取り組み、継続的に環境負担の削減に努め、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

1. 事業活動に当たり、環境に配慮した工事施工をします。
2. 事業活動においては環境に配慮した資材や製品を積極的に使用します。
3. 二酸化炭素排出量（軽油・ガソリン・電力等）の削減に努めます。
4. 省資源、省エネルギーに努め、環境負担の軽減を図ります。
5. 3Rを推進し、廃棄物（建設副産物等）の排出抑制、リサイクルに努めます。
6. 節水に努め、水使用量の削減に努めます。
7. グリーン購入の推進に努めます。
8. ボランティア活動を通して地域環境美化と環境意識の向上に努めます。
9. 関係する環境関連法規等を遵守します。

この方針は株式会社オオマス社員全員が、常に環境意識を高め行動するように周知徹底し社会に公表します。

2019年10月1日

株式会社オオマス  
代表取締役 益田 健一

### 3.環境への負荷の実績（全体）

当社は、2019年10月からエコアクション21活動に全体で取り組んでいます。  
過去の環境負荷実績は次の通りです。今後は各年度の負荷の推移を記載していきます。

環境への負担			単位	2018年度 10月～9月	2019年度 10月～9月	2020年度 10月～9月	2021年度 10月～9月
① 二酸化炭素排出量	二酸化炭素 排出量	全体	kg-CO2	217,116	471,844	461,676	514,642
		事務所	kg-CO2	22,230	35,647	31,986	30,154
		建設現場	kg-CO2	194,886	436,197	429,689	484,489
② 産業廃棄物及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化量	kg	261.4	221.9	175.4	211.8
		単純焼却	kg	179.5	406.8	307.72	275.89
		最終処分量	kg	260	41.25	14.5	31.1
		再資源化率	%	37.3%	33.1%	35.2%	40.8%
	産業廃棄物	再資源化量	t	2,938	3,130	3,367	2,815
		単純焼却	t	0	0	0	0
		最終処分量	t	0.6	14.3	0	0
		再資源化率	%	99.98%	99.55%	100.00%	100.00%
③-1 総排水量	公共用水域		m3	—	—	—	—
	下水道		m3	101	194	151	154
③-2 水使用量	上水		m3	153	211	214	225
	地下水		m3	—	—	—	—
④ 化学物質使用量			kg	使用していません	使用していません	使用していません	使用していません
⑤ 資源等使用量	資源等使用量総量(循環 資源、二次製品含む)		t	31,244	57,131	102,112	41,454

備考

- ① 購入電力の二酸化炭素排出係数は基準年度（2018年度）九州電力、調整後の排出係数（0.347kg-CO2/kWh）を使用しています。
- ② 2018年度は事業編成前（合併前）の実績値です。
- ③ 当社は化学物質は使用していません。
- ④ 水使用量と総排水量との差は、現場工事における散水、洗車等によるものです。



## 4.環境への取組の自己チェック

4.1環境への取組（1.建設業に関する取組）について、自己チェックした結果は以下の通りです。

項目	2019年度 (活動開始時)			2020年度			2021年度			2022年度		
	実施日2019年10月1日			実施日2020年10月1日			実施日2021年10月1日			実施日2022年10月1日		
	当社の 評価点 の合計	評価点 の合計	実施率 (%)	当社の 評価点 の合計	評価点 の合計	実施率 (%)	当社の 評価点 の合計	評価点 の合計	実施率 (%)	当社の 評価点 の合計	評価点 の合計	実施率 (%)
<b>1.事務所及び建設現場等の事業活動へのインプットに関する項目</b>												
(1) 省エネルギー	36	60	60.0%	44	60	73.3%	50	60	83.3%	50	60	83.3%
(2) 省資源	6	12	50.0%	10	12	83.3%	10	12	83.3%	10	12	83.3%
(3) 水の効率的な利用及び日常的な節水	12	28	42.9%	14	28	50.0%	16	28	57.1%	16	28	57.1%
(4) 化学物質使用量の抑制及び管理	14	32	43.8%	18	32	56.3%	18	32	56.3%	18	32	56.3%
小計	68	132	51.5%	86	132	65.2%	94	132	71.2%	94	132	71.2%
<b>2.事務所及び建設現場等の事業活動からのアウトプットに関する項目</b>												
(1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	28	60	46.7%	32	60	53.3%	38	60	63.3%	38	60	63.3%
(2) 廃棄物(建設副産物等)の排出抑制、リサイクル、適正処理	32	44	72.7%	32	44	72.7%	32	44	72.7%	32	44	72.7%
(3) 排水処理、水質汚濁等の防止	6	8	75.0%	6	8	75.0%	6	8	75.0%	6	8	75.0%
(4) その他生活環境に係る保全の取組等	10	12	83.3%	10	12	83.3%	10	12	83.3%	10	12	83.3%
小計	76	124	61.3%	80	124	64.5%	86	124	69.4%	86	124	69.4%
<b>3.製品及びサービスに関する項目</b>												
(1) グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)	14	20	70.0%	14	20	70.0%	16	20	80.0%	16	20	80.0%
(2) 施工・販売・提供する製品及びサービスにおける環境配慮	32	48	66.7%	32	48	66.7%	34	48	70.8%	34	48	70.8%
小計	46	68	67.6%	46	68	67.6%	50	68	73.5%	50	68	73.5%
<b>4.その他</b>												
(1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組み	8	12	66.7%	10	12	83.3%	10	12	83.3%	10	12	83.3%
(2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	8	16	50.0%	8	16	50.0%	8	16	50.0%	10	16	62.5%
(3) 施主・事業主における建築物の増改築・解体等に当たっての環境配慮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	16	28	57.1%	18	28	64.3%	18	28	64.3%	20	28	71.4%
合計	206	352	58.5%	230	352	65.3%	248	352	70.5%	250	352	71.0%

今後は実施率の向上ならびに取組項目の拡大に取り組んでいきます。

4.2環境への取組（II.その他の環境への取組）について、自己チェックした結果は以下の通りです。

項目	2019年度 (活動開始時)			2020年度			2021年度			2022年度		
	実施日2019年10月1日			実施日2020年10月1日			実施日2021年10月1日			実施日2022年10月1日		
	当社の 評価点	評価点 の合計	実施率 (%)	当社の 評価点	評価点 の合計	実施率 (%)	当社の 評価点	評価点 の合計	実施率 (%)	当社の 評価点	評価点 の合計	実施率 (%)
<b>1.事務所及び建設現場等の事業活動へのインプットに関する項目</b>												
(1) 省エネルギー	52	220	23.6%	58	220	26.4%	54	220	24.5%	66	220	30.0%
(2) 省資源	40	72	55.6%	42	72	58.3%	42	72	58.3%	44	72	61.1%
(3) 水の効率的な利用及び日常的な節水	10	64	15.6%	10	64	15.6%	14	64	21.9%	18	64	28.1%
(4) 化学物質使用量の抑制及び管理	20	24	83.3%	20	24	83.3%	20	24	83.3%	20	24	83.3%
小計	122	380	32.1%	130	380	34.2%	130	380	34.2%	148	380	38.9%
<b>2.事務所及び建設現場等の事業活動からのアウトプットに関する項目</b>												
(1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	10	32	31.3%	10	32	32.0%	10	32	32.0%	10	32	32.0%
(2) 廃棄物(建設副産物等)の排出抑制、リサイクル、適正処理	58	96	60.4%	62	96	64.6%	70	96	72.9%	72	96	75.0%
(3) 排水処理、水質汚濁等の防止	18	20	90.0%	18	20	90.0%	18	20	90.0%	18	20	90.0%
(4) その他生活環境に係る保全の取組等	4	4	100%	4	4	100%	4	4	100%	4	4	100%
小計	90	152	59.2%	94	152	61.8%	102	152	67.1%	104	152	68.4%
<b>3.製品及びサービスに関する項目</b>												
(1) グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)	20	40	50.0%	24	40	60.0%	28	40	70.0%	34	40	85.0%
(2) 施工・販売・提供する製品及びサービスにおける環境配慮	10	20	50.0%	12	20	60.0%	10	20	50.0%	16	20	80.0%
小計	30	60	50.0%	36	60	60.0%	38	60	63.3%	50	60	83.3%
<b>4.その他</b>												
(1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組み	4	12	33.3%	4	12	33.3%	6	12	50.0%	6	12	50.0%
(2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	6	68	8.8%	6	68	8.8%	6	68	8.8%	6	68	8.8%
(3) 施主・事業主における建築物の増改築・解体等に当たっての環境配慮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	10	80	12.5%	10	80	12.5%	12	80	15.0%	12	80	15.0%
合計	252	672	37.5%	270	672	40.2%	282	672	42.0%	314	672	46.7%

今後は実施率の向上ならびに取組項目の拡大に取り組んでいきます。



## 5.環境経営目標 2020年度～2022年度

当社における環境経営目標は以下の通りです。

①実績値は2019年10月～12月の3ヶ月の値です。

②年間基準値＝①基準値×4として算出。表の数値はそれぞれ②年間基準値からの削減後の目標数値を示しています。ただし、「グリーン購入の推進」と「地域貢献活動の推進」の実績値と年間基準値は2018年度1年間のオオマスの実績値を記入。(各年度の活動期間は10月～翌年9月とします)

目標	担当部門	単位	①実績値	②年間基準値	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素排出量の削減(全社)	全社	kg-CO2	144,951	579,806	574,008 (基準年度の1%減)	568,210 (基準年度の2%減)	562,412 (基準年度の3%減)	556,614 (基準年度の4%減)
①電力使用量の削減	事務所	kWh	8,258	33,032	32,702	32,371	32,041	31,711
②建設現場の電気使用量削減	建設現場	kWh	10,445	41,780	41,362	40,944	40,527	40,109
		総量/売上高当たり kWh/百万円	28.4		28.1	27.8	27.5	27.2
②燃料使用量の削減(ガソリン)	全社	ℓ	16,512	66,049	65,388	64,728	64,067	63,407
◆③燃料使用量の削減(軽油)	建設現場	ℓ	38,304	153,217	151,684	150,152	148,620	147,088
		総量/売上高当たり ℓ/百万円	104.1		103.0	102.0	101.0	99.9
※水使用量の削減	事務所	m3	48.0	192	190.1 (基準年度の1%減)	188.2 (基準年度の2%減)	186.2 (基準年度の3%減)	184.3 (基準年度の4%減)
※一般廃棄物の削減(総量)《全社》	事務所	kg	101.3	405	401.0 (基準年度の1%減)	397.0 (基準年度の2%減)	392.9 (基準年度の3%減)	388.9 (基準年度の4%減)
◆建設副産物の削減(総量)	建設現場	t	1,574.3	3,485.5	3,450.6 (基準年度の1%減)	3,415.8 (基準年度の2%減)	3,380.9 (基準年度の3%減)	3,346.1 (基準年度の4%減)
		総量/売上高当たり t/百万円	4.28		4.24	4.19	4.15	4.11
◆ICT工事の提案・受注	建設現場	件/年間	実績なし	実績なし	目標設定期間	実施	実施	実施
グリーン購入の推進	事務所	品目/年間	13品目	13品目	14品目	15品目	16品目	17品目
地域貢献活動の推進	全社	回	18	18	18	18	18	18

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力、2018年度の調整後の排出係数(0.347kg-CO2/kWh)を使用しています。

※ ◆は自らが生産・販売・提供する製品の環境性能向上及びサービスの改善に関わる目標です。

※ ICT工事の提案は、ドローン、3D技術を活用した工事の提案・受注件数です。

※ 灯油、LPG、都市ガスは使用量が少なく環境目標は設定せず削減に努めます。但し全社の二酸化炭素排出量に反映します。

※ 当社は化学物質の使用はありません。

※ 水使用量の削減は、全社分を事務所で管理しています。

※ 一般廃棄物《再資源化、焼却、最終処分の合計》の削減は、全社分を事務所で管理しています。

※ 建設副産物は、再資源化、焼却、最終処分の合計とします。

※ 「②年間基準値」の建設副産物のみは、2018年4月～2019年3月迄の1年間の(株)オオマスと(株)藤本組の合算です。

# 6.環境経営計画 2020年度～2022年度

## 1. 二酸化炭素排出量の削減

取組項目	達成手段	担当	スケジュール
電気使用量の削減	1	総務部	年間を通して
	2		
	3		1回/3ヶ月
	4		
	5		
	6		年間を通して
	7		
軽油・ガソリン使用量の削減	1	工務部	年間を通して
	2		
	3		
	4	全社	
	5		
	6		

## 2. 水使用量の削減

取組項目	達成手段	担当	スケジュール
節水活動	1	全社	年間を通して
	2		
	3		

## 3. 廃棄物排出量の削減

取組項目	達成手段	担当	スケジュール
一般廃棄物排出量の削減	1	総務部	年間を通して
	2		
	3		
	4		
産業廃棄物排出量の削減	1	工務部	年間を通して
	2		
	3		
	4		

## 4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

取組項目	達成手段	担当	スケジュール
ICT工事の提案	1	工務部	年間を通して

## 5. グリーン購入の推進

取組項目	達成手段	担当	スケジュール
グリーン購入推進	1	全社	年間を通して
	2		

## 6. 地域貢献活動の推進

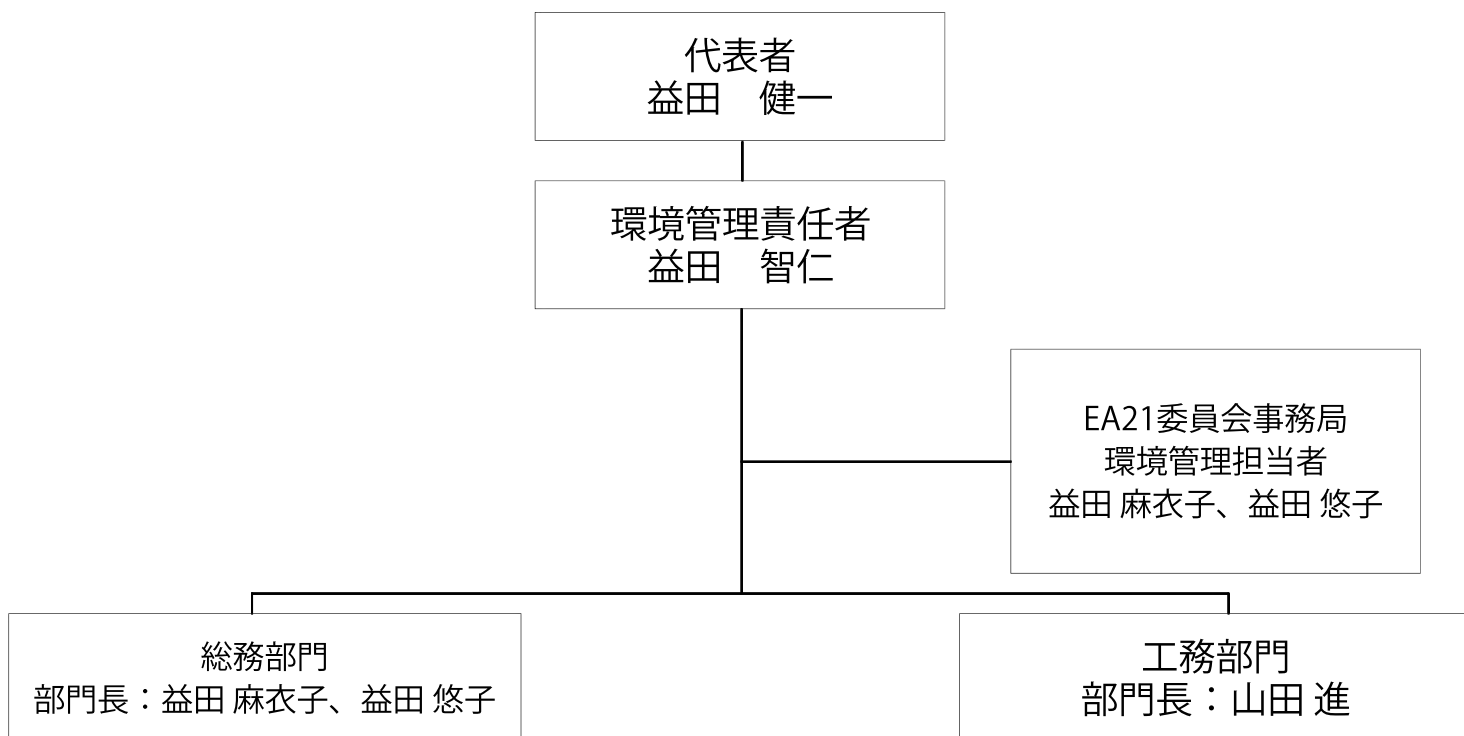
取組項目	達成手段	担当	スケジュール
地域貢献活動の推進	1	全社	年間を通して
	2		



# 7.環境経営計画に基づき実施した取組内容

## 7.1 実施体制

当社は全組織・全活動を認証・登録対象範囲としています。



## 役割分担表

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ</li> <li>環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する</li> <li>環境管理責任者、EA21事務局員を任命する</li> <li>環境への取組を実施するための資源（人・もの・資金・情報）を準備する</li> <li>EA21全体の取組状況に関し評価と見直し・指示を実施する</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>EA21のガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる</li> <li>環境経営目標、環境経営計画を作成する</li> <li>3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する</li> <li>上記の結果を代表者に報告する</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>3ヶ月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する</li> <li>環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する</li> <li>自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する</li> <li>自部門で関連する法規制等を順守する</li> <li>自部門で関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する</li> <li>自部門の教育・訓練を実施する</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する</li> </ul>



## 7.2当社における環境配慮の取組内容

### ① 従業員の意識付け

#### 1. 節水ポスター



#### 5. 使用切手の回収



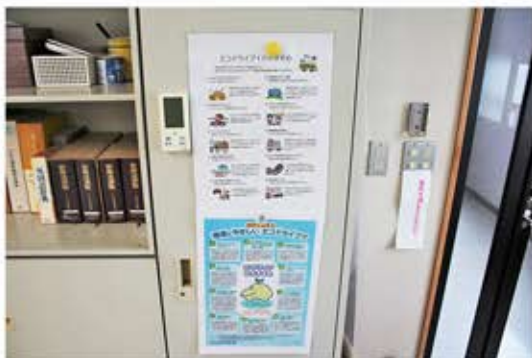
#### 2. 節電ポスター



#### 6. プロタブの回収



#### 3. エコドライブポスター



#### 7. エコキャップの回収



#### 4. 熊本県SDGsポスター



#### 8. ニチバン巻新改修エコプロジェクト



## ②エコ活動

### 9. SDGs経営推進フォーラム



### 1. 燃費記録



### 10. グリーン購入の推進



### 2. エコ通勤記録環境配慮計画書制度

(熊本県)



### 11. 裏紙の利用



### 3. 事業活動温暖化対策計画書制度

(熊本県)



### 12. ゴミの分別



### 4. 熊本県SDGs登録事業者制度





### ③ ボランティア活動

5. 燃費基準100%達成建設機械の導入  
(2020年)



1. 天草市花いっぱい運動 (春)



6. 小学校に空き缶の寄付



天草市花いっぱい運動 (秋)



7. 乾電池の回収 (天草市役所)



2. ハロウィンお菓子配り



8. グリーンカーテン



3. 新和楊貴妃祭りの準備の手伝い





4. ロードクリーンボランティア(年2回)



6. 林道ロードクリーンボランティア(年2回)



5. マイリバーサポート(年2回)



7. 天草地域漁港及び漁港海岸における環境美化・保全活動



## 8. 県管理海岸美化活動



## 9. のり面協会ボランティア



## 10. 舗装協会ボランティア





## 7.3 当社におけるその他の取組

### 1. 熊本シェイクアウト

**New**



### 2. 若手社員の面談

**New**



### 3 工業高校インターシップ受け入れ

**New**



### 4. 消火訓練





## ～建設業の新3Kを目指して～

### 給料

- ・工事評価に応じた報奨金制度
- ・資格取得支援制度

土木施工管理技士 舗装施工管理技士

機械施工管理技士 建設業経理士

- ・資格手当、賞与支給（8・12月）
- ・研修、講習を会社負担で受講促進

主催団体：熊本県技術センター  
熊本県建設業労働災害防止協会他

### 休暇

- ・有給休暇の取得促進（前年度平均12.39日）
- ・工事現場で週休2日を実施
- ・特別休暇あり（子供の行事等）

### 希望

- ・夏は空調服、冬は防寒服の支給
- ・クリスマスケーキの配布（子供がいる家庭が対象）
- ・地域外（熊本市内等）の現場従事の場合は会社アパート使用可能
- ・建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取組、ICTの導入  
熊本県発注工事5件実績あり（令和3年度）



## ■ インターシップの受け入れ

### ～刺激も加わり新鮮な気持ちに～ 浜寛光（2016年入社）

天草工業高校のインターシップを受け入れ、全日程の後半2日間、オオマスに来てくれたお二人をアテンドいたしました。

現場の基本、安全教育から測量、重機・ドローンの操縦など天草市内の工事現場を巡回しながら、現場監督として働く私が具体的にどのような仕事をしているのかを体験していただきました。

日頃は担当の現場以外にはあまり行くことがありませんので、インターシップ生と一緒に同僚の仕事ぶり、他の現場の特徴や工夫を見ることができ、久しぶりに刺激を受けて新鮮な気持ちになりました。



**浜寛光さんの1日**

2016年入社  
新築町出身の39歳。2児のパパ。

土木系工務技士の資格を持った現場監督。今は着工前の工事の準備中。夏にかけた髪が短くなってきました。

**Q&A: 一番印象に残っている工事は?**  
中村建設さんとのJV（建設工事共同企業体）で施工し、先日竣工したばかりの「国道224号地域連携推進事業（ランプ橋下道工）工事」です。（工事：令和元年10月1日～令和4年9月30日）「天草土佐大橋」のランプ橋工事になります。（注「ランプ」とは高規格の約2kmの道路を架かっている架橋のこと。）

**Q&A: やりがいを感じる瞬間は?**  
やはり竣工まで関わった時です。竣工前夜を現場者に開放し、敷地が静寂に突了した時の一番やりがいを感じますし、何より安心が大きいです（笑）

**Q&A: 仕事で大切にしていることは?**  
まずは絶対安全！これに尽きますが、私はコミュニケーションを一番大切にしています。工事に関わる全ての人たちとの人間関係は経験者によって最も大切なことと考えています。現場でも本社でも積極的にコミュニケーションをとるようにはしています。

**浜さんの1日**

7:00 朝食

8:00 朝礼

8:30 作業開始

現場の巡回、点検、作業員への指示、工事写真の撮影等

10:00 10:15 休憩①

10:15 作業開始

12:00 12:30 昼食休憩

13:00 作業開始

現場の巡回、点検、作業員への指示、工事写真の撮影等  
作業工程のチェック

15:00 15:15 休憩②

15:15 作業開始

17:00 作業終了

18:00 帰宅

帰宅後に、明日の準備、日報作成（作業報告）、写真の整理、作業工程書の作成等

**安全管理**

工事に関わる全ての人が安全に仕事を行えるように環境を整備すること。  
作業中に安全に業務を遂行できるかといった観点で現場の環境をチェックする。

**原価管理**

計画した予算と実際の工事がかかった原価を管理すること。  
作業工程通りに工事が進捗していけば、通常は予算内に収まりますが、天候・人手不足・材料不足や現場の高騰など突発的なハプニングが起こることも。

**楽しさ**  
スクールの大きなモノづくり

**面白さ**  
毎日、毎回違うものを作り変えていくモノづくり

**責任感**  
人々の暮らしや生活の一部になる仕事

**達成感**  
数日に工事が増えたとき



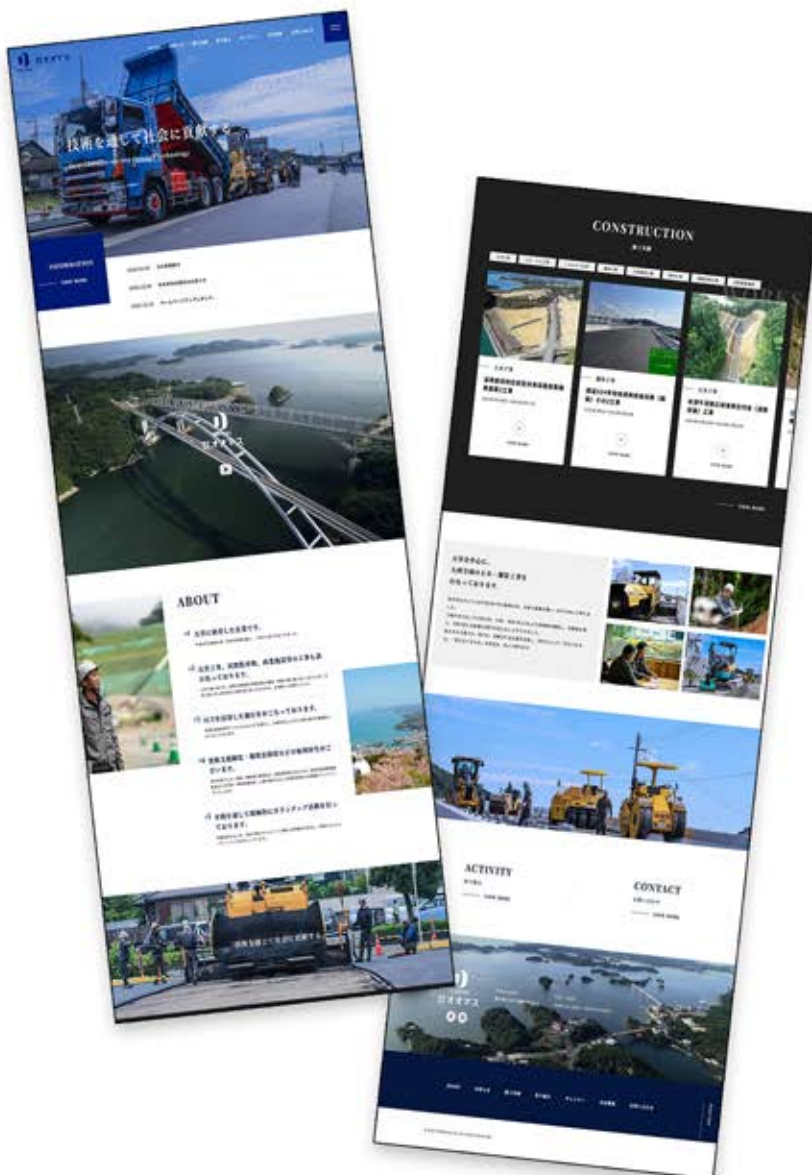
## ■ ホームページ・SNSの活用

～オオマスかわいいね！～ 益田 悠子（2021年入社）

創業32年目、プロモーションビデオとホームページが完成しました。  
プロのカメラマンと制作会社に外注し、天草の美しい景色と建設現場・重機  
のかわこよさを強調したシンプルなデザインに仕上げてくださいました。

趣味のカメラを活用し、インスタグラムの運用、ホームページの素材  
としてもたくさんの写真を使用させていただいて楽しく仕事ができています。

一般的にはあまり良いイメージがつきにくいとされる建設業ですが、  
SNSの活用で求職者にはオオマス独自のかわこよさを強調し、宣伝としての効果を期待しています。





## 8.環境経営目標の実績・その評価

《次年度の環境経営目標は「5.環境経営目標」及び環境経営計画は「6.環境経営計画」参照》

目標	担当部門	単位	運用期間（2021.10～2022.9）			
			※目標	実績	達成率(%)	評価
二酸化炭素排出量の削減(全社)	全社	kg-CO2	562,412	514,642	109%	○
①a電力使用量の削減	事務所	kWh	32,041	31,516	102%	○
◆①b建設現場の電気使用量削減	建設現場	kWh	40,527	36,550	111%	○
②燃料使用量の削減(ガソリン)	全社	ℓ	64,067	33,322	192%	○
◆③燃料使用量の削減(軽油)	建設現場	ℓ	148,620	158,322	94%	○
※水使用量の削減	事務所	m3	186.2	225.0	83%	△
※一般廃棄物の削減(総量)《全社》	事務所	kg	392.9	518.7	76%	×
◆建設副産物の削減(総量)	建設現場	t	3,380.9	2,814.9	120%	○
		再資源化率	100%	100%	100%	○
◆ICT工事の提案・受注	建設現場	件/年間			—	—
グリーン購入の推進	事務所	品目/年間	16品目	26品目	163%	○
地域貢献活動の推進	全社	回	18	15	83%	△

判定： ○：90%以上 △：80～90%未満 ×：80%未満

※ 達成率(%) = 目標 / 実績

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力、2018年度の調整後の排出係数(0.347kg-CO2/kWh)を使用しています。

※ ◆は自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善に関わる目標です。

※ ICT工事の提案は、ドローン、3D技術を活用した工事の提案・受注件数です。

※ 灯油、LPGは使用量が少なく環境目標は設定せず削減に努めます。但し全社の二酸化炭素排出量に反映します。

※ 当社は化学物質の使用はありません。

※ 水使用量の削減は、全社分を事務所で管理しています。

※ 一般廃棄物《再資源化,焼却,最終処分の合計》の削減は、全社分を事務所で管理しています。

※ 建設副産物は、再資源化,焼却,最終処分の合計とします。

## 9.環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

全体目標は達成となったが、大幅に未達成な取組対象もあり、改善・工夫が必要ということが明確になった。今後は削減の意識をより一層高くもち活動を推進していく。1年後に目標値の見直しを行う。

### (1) 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	評価（次年度の取組内容含む）
二酸化炭素排出量の削減	全体目標は達成。 ガソリンの量は、遠方の長期の現場も減ったことが要因でないかと考えられる。
電気使用量の削減	今年度は達成できたが、現場での電気使用量は、工事の規模や進み具合、使用する機会等によって変動がある為、なかなか削減をおこなっていくのは難しいところもある。 しかし、今後も事務所や現場事務所等の電気、エアコン等の基本的な節電を取り組んでもらえるように、呼びかけをおこなっていききたい。
軽油使用量の削減	機械の年数が経つことで、燃費も悪くなっていることも要因の一つと考え、売上や機械への投資予算等を含め、トータルで考えた時に、機械を新しく購入するタイミングを考えていきたい。 また、それと平行して燃費の良い運転を心がけていきたい。
ガソリン使用量の削減	今年度は燃費管理をはじめアイドリングストップやエコドライブに積極的に取り組んだ為、達成という結果が出てよかった。現場のガソリンが減ったのは、今年は遠方の現場よりも天草市の現場が多くなったことが原因とみられるが、引き続き一人ひとりが自分の運転、車の燃費を意識してもらい、環境に優しい運転を心がけてほしい。

### (2) 水使用量の削減

取組対象	評価（次年度の取組内容含む）
節水活動	ポスターなどで呼びかけ、定期的に蛇口の緩みがないかのチェックを引き続き行い、目標達成となった。 ポスターは違う色合いなどに定期的に張り替えるなどの工夫をし、目につくようにしたい。

### (3) 廃棄物排出量の削減

取組対象	評価（次年度の取組内容含む）
一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の排出量が大幅に増加してしまった。 事務所でのゴミの分別をさらにできないかや、捨てる前に再利用できるものはないか、一人ひとりが確認をしていきたい。 引き続き周知徹底と削減に向けた改善策を考え実行していく。
産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率の維持・向上)	今年度は達成できたが、現場での電気使用量は、工事の規模や進み具合、使用する機会等によって変動がある為、なかなか削減をおこなっていくのは難しいところもある。 しかし、今後も事務所や現場事務所等の電気、エアコン等の基本的な節電を取り組んでもらえるように、呼びかけをおこなっていききたい。



#### (4) 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

取組対象	評価（次年度の取組内容含む）
ICT工事の提案・受注	工事の工事写真をドローンで撮影する等の活用をおこなっている。 まだ受注に至ってハイないが、積極的に取り組んでいきたい。

#### (5) グリーン購入の推進

取組対象	評価（次年度の取組内容含む）
グリーン購入推進	事務用品等にグリーン購入法適合商品が多く、達成することができた。 これからも購入時には意識して、商品を選んで環境に良い商品を購入するように周知していきたい。 今後は現場での再生資材の購入も検討する。

#### (6) 地域貢献活動の推進

取組対象	評価（次年度の取組内容含む）
地域貢献活動の推進	毎年おこなっているボランティア活動には参加するようにしていたが、コロナ禍や天候等で若干回数が減ってしまった。 しかし今年度から始めたボランティアもあり、地域に貢献できるボランティアや身近なところから取り組めるボランティア等をこれからもどんどん取り入れていきたい。

# 10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

適用対象	法令・条例	要求事項	遵守事項	遵守評価
建設業	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	再資源化等実施義務	対象建設工事受注者は、特定建設資材（コンクリート塊、コンクリート及び鉄から成る建設資材、アスファルト塊、材木）廃棄物を再資源化する。	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の委託処理基準の順守	○産業廃棄物の収集運搬、処理の委託基準に適合したそれぞれの業者と委託契約書の締結。 ・契約書には処理業者の許可証の写しを必ず添付 ・契約書には業務が終了した日から5年間保管する ○収集運搬・処理が適正に行われているか状況の把握、確認。	○
		マニフェストの交付	○産業廃棄物を引き渡す際にマニフェストを交付する。 ・廃棄物の種類ごと、運搬ごとに交付 ・種類、数量、受託者氏名、名称等を記載（確認）する	○
		マニフェストの保管	○収集運搬・処分の終了を確認し、マニフェストを5年間保管する。 ○管理票交付日からB2票及びD票は90日以内、E票は180日以内に受領・期限内に受領できなかったら知事に報告する。	○
		管理票交付者の報告書	事業所ごとに、毎年6月30日までにその年の3月31日以前の1年間において交付した管理票の交付状況を当該事業場の所在地を管轄する都道府県知事に提出する。	○
	騒音規制法	特定建設作業の事前提出	指定地域内で、特定建設作業を伴う建設工事を施工しようとするものは、当該建設作業開始の7日前までに市環境保全室に届けなければならない。	○
	振動規制法	特定建設作業の事前提出	指定地域内で、特定建設作業を伴う建設工事を施工しようとするものは、当該建設作業開始の7日前までに市環境保全室に届けなければならない。	○
	フロン排出抑制法	業務用エアコンの適正管理・適正処分	○フロン類回収業者に引き渡す時は、回収依頼書を交付し、3年間保管。 ○【簡易点検】全ての第一種特定製品、業務用エアコン空調機等：3ヶ月に1度以上点検する。 ○【定期点検】第一種特定製品で圧縮機7.5KW以上の業務用機器を3年に1度以上定期点検をする。	○
	家電リサイクル法	特定家庭用機器再資源化等の促進	廃棄物として排出する場合は、運搬する者等に適正な引き渡し、料金の支払いをする（冷蔵庫、ユニット型エアコン、洗濯機、テレビ）	○
	自動車リサイクル法	廃棄物自動車の適正処分	○使用済となった自動車を引取り業者に引き渡す ○新車購入時にリサイクル料金を（財）自動車リサイクル促進センターへ支払う。制度施行時に使用中の自動車は最初の車検時までにはリサイクル料金を支払う。	○

環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。  
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

2023年3月1日  
株式会社 オオマス  
環境管理責任者 益田 智仁



# 11.代表者による全体の評価と見直し・指示

## ● 事務所

電気使用量、ガソリンの削減、グリーン購入品の推進において目標達成。  
一般廃棄物、水の使用量においては、大幅な増加により目標未達成となった。  
熊本県では令和3年1月、SDGsに積極的に取り組む企業等を後押しする「熊本SDGs登録制度」が創設され、我が社も第一期登録事業者となった。  
登録事業者のみが使用できるロゴを使用した名刺、ピンバッチ、ポスターなどで取り組みの「見える化」を利用し、社内外へのPRを行なっている。  
今後も地域ボランティア活動や自治体の取り組みにアンテナをはり、積極的に参加していきたい。

## ● 建設現場

電気使用量は達成となった。  
軽油の燃料使用量については、目標設定の数値を上回ってしまい、これからも改善の余地がある。  
今年度の環境を重視し、2020年燃費基準100%達成機械を導入。  
既存の車両や建設機械での環境配慮も継続し、作業員一人ひとりにアイドリングストップやエコドライブをお願いしたい。

## ● 全体

二酸化炭素排出量は目標を上回る結果となったが、遠方の現場の稼働が少なくなったことでガソリン使用量が大幅に減少したことが要因とみられる。  
現場の場所や工事によって使う燃料や資材も変動があることから、表面上の数字だけにとらわれず工夫を重ねていきたい。

地域貢献活動の推進については長引くコロナ禍で延長や中止があったことから、目標未達成となつてしまった。  
既存の取り組み以外にも、作業が難しい雨天の日を利用した自社独自のボランティア活動などを企画し実施していきたい。

ポスターや毎月提出をお願いしている燃費記録表に“慣れ”が生じてしまっている部分が見受けられる。  
また、新入社員へのしっかりした共有ができておらず、まだ身についていないように思われる。

今回の結果を会社全体に共有し、一人ひとりが意識し、継続するための工夫を考えていきたい。

2023年3月1日  
株式会社 オオマス  
代表取締役 益田 健一